

展示ブース

目標1

目標1では、サイバネティック・アバターを用いた未来の働き方の実現に向け、障がい当事者参画のもと、リアルとバーチャルを行き来する「拡張アバター接客」、複数のアバターを自在に操る「分身の分身おもてなし」のデモを行いました。



目標1:分身ロボットカフェ DAWNver.βでの実証の様子

目標3

目標3では、「人生に寄り添うAIロボット」として、2050年には、家事、接客、福祉、医療などの現場で人と一緒に活動できる人・ロボット共生社会を実現します。今回は現時点の研究内容を動画等で紹介しつつ、AIロボットを身近に感じられるよう実際に触れていただくデモを行いました。



目標3:AIロボット

目標4

目標4では、“ビヨンド・ゼロ”社会実現に向けたCO₂循環システムの実現を目指し、大気中の希薄なCO₂を回収する革新的なナノ分離膜を展示しました。また、新たな資源循環体系の実現を目指し、CO₂を吸収させることでセメントコンクリートの代替となる主要建設材料を展示しました。



目標4:ナノ分離膜



目標4:CO₂を吸収したコンクリート

目標5

目標5では、2050年までに地球規模でムリ・ムダのない持続的な食料供給産業の創出を目指しています。全プロジェクトを動画で紹介するとともに、牛の胃の中のメタン発生状況を確認する「スマートピル」の模型を展示しました。



目標5:メタン発生状況の計測

目標7

目標7では、主要な疾患を予防・克服し100歳まで元気に人生を楽しめる医療・介護システムの実現を目指しています。近年、口腔細菌や腸内細菌と身体の状態や疾患に強い相関性があることがわかり、高齢社会に貢献する口腔細菌測定機器を展示しました。



目標7:口腔細菌測定機器